

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		7/10~7/17	7/17~7/24	7/24~7/31	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.066	0.110	0.140
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.035	0.046	0.064
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	0.028	0.070
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.095	0.150	0.220
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.020	0.061
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.012	0.060
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	0.014	0.052
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.030	0.045	0.086

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		7/10~7/17	7/17~7/24	7/24~7/31	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.013	0.055
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出	0.033

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

●渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第114回目

大気浮遊じん放射能測定結果の解説

(2019年7月10日~2019年7月31日)

今回は、セシウム137濃度の平均値が0.053 mBq/m³と極めて低く、健康影響の心配はありません。放射線は、大きく分けると質量を伴わない電磁波(X線やγ線)と質量を伴う粒子線(アルファ線、中性子線、ベータ線)に区別されます。放射線の人体への強度は、それぞれの放射線が持っているエネルギーに依存します。

電磁波は、いわゆる光のことでエネルギーの大きさは電磁波の振動数に依存するので、激しく振動している電磁波の持つエネルギーは大きいです。一方、質量を伴う粒子線のエネルギーは、その質量の大きさと動いている早さに依存します。これは質量の無い光にも、質量のある物質にもエネルギーがあると意味しています。